友愛の日 11月15日

オーストリア勤労青年連盟と交流深まる

柳沢常幹ＯＪＡＢに派遣決定

全国で友愛旗を掲げ、祝おう

本会では昨年、ＯＪＡＢと議定書を交換し姉妹団体となり、相互の交流をはじめ種々約束をとり交わした。その一つに"友愛の日"を決め十一月十五日をお互に祝うことになった。本会でもこの日を全国で祝うと共に、オーストリアに柳沢定勝常任幹事を派遣することに決定した。

昨年十一月十五日柳沢定勝常任幹事（国際問題委員長）が本会を代表してウイーンのオーストリー勤労青年連盟の本部を訪れて、ブルーノ・バッハヴィーゼル会長と十項目にわたる議定書を調印した。その議定書のなかに「友愛青年同志会とオーストリア勤労青年連盟は一年に一日、この日二つの組織の緊密な仲間として祝う日を決める。この日の行事は仲間としての連携を深めるためにおこなわれる」という一項がある。本会とオーストリア勤労青年連盟との話し合いの結果、二つの組織の緊密な仲間として祝う日を、議定書の調印された十一月十五日とし、この日を"友愛の日"と決定した。

本部は友愛の日の行事を全国の組織に趣底させるため全国会員の代表が参集する十一月六日の第十九回全国幹事会の際におこなうことをきめ、在日オーストリア大使館の協力を得て六日午後五時から全国幹事会の開かれる鳩山会長邸はなれで、「日本・オーストリア青年の夕べ」を開き、本会役員並びに一般会員と在日オーストリア青年との意見の交換、講演、両国の事情をより深く理解するための映画会等を催すことに決定し準備を進めている。

また十一月十五日には本部はもとより全国の各県連、支部、地区では友愛の旗を掲げるとともにそれぞれの地域の実情に応じて行事をおこなうことに決定した。

一方、オーストリア勤労青年連盟では今年が設立二十周年にあたり、十一月十五日にウイーンにおいて盛大な記念式典が開催される予定で、本会に対しこの式典に正式な代表を派遣するよう絡連があった。

常任幹事会で討議の結果、"友愛の日"の意義を再確認し、あわせて我々と共通の目的で運動を続けている姉妹団体、オーストリア勤労青年連盟の記念すべき二十周年に心からの祝福を述べるために代表を送ることになり、柳沢定勝常任幹事を再度派遣することに決定した。

柳沢常任幹事は十一月十二日、エール・フランス航空機で羽田を出発しウイーンに向う。

青年の船

来年実施が決定する

"明治百年"を国をあげて祝うため設けられている「明治百年記念準備会議」（主宰者、佐藤首相）の第三回全体会議は十一月二日午前十時半から首相官邸で開かれ、明治百年記念日の昭和四十三年十月二十三日を中心におこなう式典行事、事業計画などの大綱を決めた。

会議が発足してから四部会に分かれ審議を続けてまとめたもので、こんごは、この大綱に従って担当の各省庁ごとに予算を要求、具体化してゆくことになった。

記念事業の一つとして「青年の船」巡航がきまった。一万トン級の船に青少年代表を乗組ませて世界各地を回り、見学と奉仕活動をさせる。

現在、総理府青少年局が中心となり、関係各機関、青少年団体代表などと懇談し具体的な準備を進めているが、来年度は青年の船として見本市船「さくら丸」（一二六〇〇トン）をチャーターして就航させ、昭和四十三年度は一万トン級の青年の船を建造する計画である。

「さくら丸」は来年度ヨーロッパ、東南アジアの二航海を予定しており、ヨーロッパ航海は約九十日で、参加者負担六万円、東南アジアコースは約七十日で、参加者負担三万円。対象なる青年は、おおむね十八歳以上二十五歳までの年令層の日本の青年とする。などの大綱が決定している。

友愛婦人会

去る十一月七日（月）午後一時半より、友愛婦人会（会長＝鳩山薫）では定例役員会を開催した。

今回は初めから会長さんの出席を戴き、バザーの出品についてなごやかな内に話が進められた。バザーについては今まで充分に話し合われて来たが、十一月二十一日（月）にバザー出品の締切もあって最終の準備がおこなわれる。

また、第二回積立て旅行について打合せがおこなわれ詳しい事は次回の役員会に出される。

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町７の10
電話 大塚（941）2801
編集兼発行人佐々木恵美子
定価 1部 10円

組織の改革を示唆

第七回組織委員会開く

去る十月九日、十日（日・月）鳩山邸はなれにて全国組織委員会（委員長＝早川広中常幹）主催で第七回組織指導者講習会が開催された。

近年内部の充実を採り上げてきたが、対策の不充分な所、組織機構の不充分な所等、綜合的に研究がなされ、現状に即した組織機構の再検討がおこなわれた。

本部から出席した尾形智矩幹事長、及び早川広中組織委員長の挨拶の後、早速講習会に移った。特に深津栄一常任参与の"他団体の組織活動"は実践に即した活動という意味で多くの示唆を与えてくれた。

その後、組織委員会が開催され①組織機構の再検討、②会費制度の検討、③学生部組織の位置付け④その他について討議された。

①、②については別々に討議されたが、重要な事でもあって、綜合的な意見が出された。③については学生部の意向も聞くが本会の組織の整備の下で位置づけをおこなっていくことになった。

組織委員会で検討されたものは次の様になっている。

【1】すぐに実行可能なもの
○名簿整理
○理論武装と資料整備
○ブロック組織対策

【2】組織機構の検討
a 支部組織について
○活動の主体を支部に置く
○同一市区町村内に一支部の原則にこだわらない。
○支部連合会の結成されていない所には個人会員を認める。
b 会費、代議員制度
○会費の分担制
五百円会費のうち
本部　百円
支部連合会　百円
支部　地区　三百円
支部連合会の結成されていない場合は本部に二百円納入する。
○代議員制度
比例代表制を採り入れる
代議員数
支部連合会―二支部で一名、二支部増す毎に一名増
支部―会員二十名まで二名、十名会員が増える毎に一名増
地区―会員二十名に満たず、十名以上一名
○支部は会員四十名以上になる場合二支部に分けるように指導する
○大会経費の全額本部負担

【3】役員について
○役員の推薦母体を明確にする。
○原則として執行部と常幹を兼ねる。
○名誉役員の会費。

【4】学生部組織の位置付け
○名称―明確にさせる。
○組織―大学にあっては学校別組織 学校では学内組織となれる様指導してゆく
高校にあっては学校別にこだわらない。
全国学生部は明確になった組織の上に立つ連絡調整機関である。
都道府県連、支部、地区組織との横の連絡を深めてゆくよう指導する。

【5】特別委員会については十分に機能を果していないものは整理する

【6】友愛クラブに付いては十分機能を発揮するよう要請する

組織委員会で討議された事を纏めてみれば以上の通りであるが、これを常任幹事会に掛け、幹事会に掛け、問題がなければ、第十四回全国大会に掛けられる。通過したとすれば、規約も改正しなければならず、二、三年の猶予期間が考えられるはずである。

銅像建立二周年記念

護国寺で会長を迎えて

去る十月七日（金）午前八時半より、文京区護国寺にて、鳩山薫会長を初め地元の秋元平十郎氏等会員多数が参加して、鳩山一郎先生御夫妻銅像建立二周年記念をおこなった。

この銅像は昭和三十九年鳩山先生ゆかりの有志が集い建立したもので以後本会で維持管理を委託されたものである。

昨年は一周年記念でもあって、先生を偲ぶ会として各界の代表を招いて大々的におこなったものであるが、本年は本会関係者及び地元の代表者でごく内輪でおこなったものである。

都連では毎月七日谷中の鳩山先生の墓前にて墓参会をおこなっているが、都連の人達が先ず到着して銅像の周りを掃除した。そして都連の会員を初め、常任幹事、学生部の人達によって銅像がきれいに洗われた。本会と財団より供えられた花束が飾られ、鳩山薫会長をお待ちした。

九時、鳩山会長を迎え簡単な挨拶の後、参加者一同お参りをした。先生の遺徳を偲び友愛の発展を祈る会員の顔には何時にない輝きを感じた。

ＯＪＡＢ二十周年 柳沢常幹派遣

第七回常任幹事会開く

去る十一月四日（金）午後六時半より、本部事務所にて、第七回常任幹事会を開催した。議長は早川広中常幹が務めた。

一般会務報告としては全国組織委員会について、和歌山、大阪組織巡回、鳩山先生銅像建立二周年記念行事、鶴巻常幹、辻谷幹事帰国青年の船懇談会、大雪青年の家開所式、世界青少年キャンプ委員会中国反共救国団代表との懇談会、有田文部大臣との懇談会、新聞広告協力者、賛助会入会者、山崎栄常幹御尊父死去、その他がおこなわれた。

議題としては、①第十九回全国幹事会議題について、（イ）第一号議題案、昭和四十一年度下半期事業計画について、大会に決められた事業を消化する、（ロ）第二号議題案、第十四回全国大会について、四十二年五月三、四、五日軽井沢にて、（ハ）第三号議題案組織機構の再検討、組織委員会原案を幹事会提出議題とする。（ニ）その他、②和歌山県田辺支部承認について、条件付で承認、③婦人会、関東学生部主催友愛バザーについて、④歳末助け合い運動の実施について全国組織をあげて実施する、⑤青少年育成国民会議活動推進研修会について、十一月十六日～十九日中央青年の家にて、本会よりもできれば参加、⑥オーストリア青年運動二十周年記念式典参加について、柳沢定勝常幹派遣十一月十二日出発予定、⑦友愛の日について十一月十五日が"友愛の日"であるが本年は繰り上げて十一月六日（日）幹事会の日に日本、オーストリア青年の夕べをおこなうことに決定、⑧その他が討議され午後十一時半散会した。なお来月の常幹は旅行を兼ねて十二月十日、十一日におこなうことが決定した。

鶴巻常幹元気に帰国

総理府主催第八回青年海外派遣団アフリカ班の副団長として約二ヶ月半にわたりアフリカ各地を視察、親善訪問した本会常任幹事、中央教育指導部長、鶴巻克雄君は十月二十九日午後八時三十分羽田空港着のルフトハンザ航空機六四八便で帰国した。

空港には尾形智矩幹事長、北川登常任参与、大西厳治、佐々木恵美子両常任幹事、関東学生部役員ら多数の会員が出迎えた。

大雪青年の家開所式

北海道上川郡美瑛町白金温泉に建設していた「国立大雪青年の家」の開所式は去る十月十六日（日）午前十時三十分から有田喜一文相、町村金吾道知事ら来賓約四百人が出席し盛大におこなわれた。

同施設は御殿場、阿蘇、磐梯に次ぐ全国第四番目のものである。本館鉄筋コンクリート三階建をはじめ四百人収容の宿舎五棟、円形大浴場、講堂等の施設をもち、総工費六億円で作られたものである。

なお本会からは会長代理として道連副会長坪田茂男君が出席した。

キャンプ開催の方向

キャンプ委理事会開く

オリンピック世界青少年キャンプ委員会（会長、川崎秀二氏）第三回理事会は十月二十二日午後一時三十分から東京・お茶の水、ＹＷＣＡ二階会議室で開かれた。

理事会は先に世界青少年交流協会が、メキシコ訪問青少年代表団を派遣するにあたり、一九六八年に開かれる第十九回オリンピックメキシコ大会に際し、世界青少年キャンプ開設についてメキシコ国の関係機関に促進を働きかけるために派遣した世界青少年キャンプ委員会事務局長奥田吉郎氏（本会副会長）、ボーイスカウト日本連盟役員石川一郎氏の報告を聞いた。

奥田、石川の両氏は「国立青少年院本部長官ピンドロ・ラリオス・ミランダ氏、メキシコオリンピック組織委員ギルバルト博士、国立工科大学総長マッシュー博士、文部大臣、メキシコ大学総長等と会見し、またメキシコの現政府与党である立憲革命党の青年部、メキシコボーイスカウト本部を訪問しキャンプ開設の促進について協力を依頼した。

その結果、まだまだ困難な問題はあるが関係機関がキャンプ開設の方向に踏みだしたことは大きな収穫であったと確信する」と報告した。

出席全理事は今後国内においても具体的な取り組みについて検討することを確認し午後五時閉会。

添野政三氏

本会常任幹事添野元晴君の尊父添野政三氏は去る九月三十日心臓マヒのため死去された。

告別式は十月五日午後一時より、築地本願寺でおこなわれ、本会からは尾形智矩幹事長はじめ、学生部の会員多数が参列した。

山崎秀雄氏

本会常任幹事山崎栄君尊父山崎秀雄氏は去る十月十九日自宅にて死去された。

告別式は十月二十一日午後一時より自宅でおこなわれ本会からは高野政利財団事務局長が参列した。

直言

◆鳩山一郎先生夫妻の銅像建立二周年記念が七日護国寺でおこなわれた。一郎先生の生前を識るものばかりではなく、若い多くの会員も参加していた。そして、都連では毎月七日谷中の一郎先生の墓前で早朝墓参会をおこなっているが、その席にも一郎先生の生前を識っているものもほとんどいなくなってきている。

◆以前、生前の先生を偲んで墓参会に出くの人が参加していたと聞いている。その人達の多くは墓前で同志と会い、お互の絆を先生という媒介を通して深めていたし、そこで新たな活動意欲を湧かして次の活動、あるいは新入会員の獲得にも励んだようである。一郎先生を識るものにとってはそこが一つの活動の源となっていたと考えられる。その人達が少なくなり、生前の先生を識らない人達が多く集るようになったという事はそこに明らかに時代の移り変りを見せつけられるのである。

◆一郎先生を識らない会員と先生を結び付けるものは友愛以外の何物でもない。一郎先生の人と形によって活動に入ったものとそうでないものとは自らそこに会員として異質なものを持っているであろう。先生が生きているうちに会員になったものは友愛以外に先生の魅力も作用して、お互の絆もより強いであろう。しかし、今お互を結ぶものが友愛以外のものでないとしたならば、先生存命中よりももっと友愛が前面に押し出されるべきである。

◆"友愛とは寝小便たれ小僧を直す親の心である"とは一郎先生の友愛を説く一つの方法であった。今は友愛を説くのにこのようなことは言わない。しかし青年に説くにはしっくりいかないところが無きにしもあらずである。これは中央の責任ばかりでもないところもあるが、その大半の責は負わなければならない。

ただ一つの事業を消化したというだけでは何も意味がない。そこに新しい意欲を湧かすものでなくてはならない。きっと墓前にて先生との対話では大きな夢も語られていると思われるのだが、それが全国会員のものとなることがより望ましいのではないか。　和尚

論談

昨今の政界腐敗を憂う

国会は解散し国民に信を問え

最近の政界の腐敗堕落は深刻であり、"政治"よりも"政治以前"の問題である。田中彰治事件。荒船運輸大臣の選挙区急行停車事件、関係業者への後援会入会勧誘問題、韓国への業者同行事件。上林山防衛庁長官の"お国入り"問題。松野農林大臣の訪米業者同行、観光旅行日程問題。共和製糖問題。バナナ、ノリ輸入等をめぐる政界の利権臭。首相をはじめとする政治家の所得問題。国有農地売り戻し問題をめぐる行政当局の弛緩等々、政界、財界、官界にわたって腐敗と堕落の現象は枚挙にいとまがない。

九月中旬の毎日新聞の世論調査によれば、内閣の支持率は佐藤政権誕生以来最低で二六・二%と、崩壊寸前の岸内閣をも下回る史上最低を記録した。「佐藤政治に関心なし」「わからない」「無回答」を合わせて、政治無関心層が四八・九%に達した。

いわゆる"黒い霧"事件を中心に国民の政治への不信は募る一方である。

佐藤首相も事態の重大性を認識し、荒船運輸相を更迭し世の批判の一端にこたえるとともに自民党内に「綱紀粛正調査会」（会長清瀬一郎氏）を作って体制建て直しに乗り出した。

また自民党内の正式機関である組織調査会（会長、早川崇氏）は会議を開き答申を出した。その内容は「最近の相次ぐ不詳事件は、政策以前のわが国の政治道義の低下として国民世論のきびしい批判にさらされている。われわれは党謙虚にこの事態を反省し、きびしく自粛の実をあげなければならない。

本来保守主義者のモラルは名誉、勇気、責任感、廉潔、愛国心を尊しとするものである。而して善を保守するとともに、悪を除去する勇気を持たなければならない。

しかるに多年にわたる与党の安易さは、政治道義弛緩の風潮を党内の一部に胚胎せしめ、今日の事態を惹起せしめたことを率直に認めざるを得ない。このままに推移せんか、民主々義、議会政治の信用は失墜し、自由を破壊する左翼革命や全体主義勢力を擡頭を招来するのは危険なしとしないことを憂うるものである」。

更に（1）党紀委員会の権限強化、（2）正しく明るい総裁公選の確立（3）公認基準の厳格化、（4）派閥人事の排除、（5）責任体制の確立、（6）政治資金における公私混同の排除、（7）選挙民への過剰サービスの自粛、の具体策を建議している。

自民党は事件や問題が起こるときまって特別委員会を設置し、また既存の委員会を急に開いてもっともな決議をし答申案を出す。

昭和三十八年十月にも当時の自民党組織調査会（会長、三木武夫氏）は非常にりっぱな答申案を出した。「自民党近代化についての方策」と題する答申は「政治結社であると否とを問わず現存のいわゆる派閥は一切これを無条件に解消する」と宣言し、派閥発生の原因を除去して派閥復活を防ぐために次のような措置をとることを提起した。

（一）人事＝閣僚、役員、公認候補の推薦につき"派閥的均衡人事"を排する。党に「人事局」を設置して、人事に関する公正な資料を整え、人事選考の参考にする。

（二）政治資金＝政治資金を党一本に集中し、個人後援会については同一人または同一法人から年間を通じ三十万円以上の資金を受領してはならない。

（三）総裁選挙＝公選の原則は存置するも、選考推薦機関として、顧問会の構成を新たにしてその機能を果さしめる。総裁の任期を二年より三年に改める。

（四）国会議員選挙＝結論は、選挙制度審議会にゆだねる。

昭和三十八年の答申といい、今回の答申といいまことに要を得たものである。しかし事が起こるたびに何回美辞麗句を並べてみても前進はない。決議、申し合わせ、答申だけでは国民は納得しない。現段階にいたってはただ具体的な実行あるのみである。

一方、社会党にも多くの問題がある。共和製糖事件では政治献金を受けた議員もいるといわれている「自民党も社会党も同じ穴のムジナ」だとの声も聞かれる。

このような状態では議会政治に対する不信は増すばかりで、国民が議会政治にソッポを向いた時、そのあとに来るものを考えると肌寒いものを感じる。

われわれは常々、議会政治を擁護し、国民の意思を反映した友愛精神による政治、すなわち愛情のある政治を要求してきた。自由を求め、平等が叫ばれても、そこに友愛の精神が欠けていては真の民主主義は確立されない。

国が発展するか否かはその国の政治家の姿勢を見ればよい」といわれる。この論法からいけば日本はまさに危機に瀕しているといえよう。

佐藤内閣は池田内閣のあとを受けて成立したが選挙を経験していない。われわれは不祥事件があい次いだこの時期に国会を解散し信を国民に問い改めて出直すべきであると考える。また"黒い霧"事件を唯政界や一部の関係者だけの問題としてとらえるのではなく国民全体の問題として受けとめ反省し、次の総選挙では真に国民の期待にこたえ得る代議士を選出しなければならない。「政治家の質は選挙する国民の質によってきまる」といわれている。

組織委員会改革案

問題点と意欲を探る

第七回全国組織委員会で本会組織の改革が検討され、改革案が提案された。内部充実を掲げて二年目になる本会のさらに意欲的な動きがでてきたわけである。これを機に組織関係の改革を目指す点に解説を加え今後の活動の参考としたい。また、我々の活動方向をも左右する点も含んでいると考えられるので、全国各組織でも大いに検討が望まれている。また、この改革案に不明の点があったらそのままにせず、より活発な活動をすすめるべく意見交換も本紙を通じて積極的におこなわれることが望まれる。

特に組織機構の検討の中で三つの問題点がある。その一つは同一市区町村内に一支部という原則にこだわらないことである。組織の拡大に足枷を掛けていたこの原則を取り除くことによって小グループによる内容のある活動が望まれる。また支部が大きくなるとなるべく二つに分けることにより、いつでも一定した活動と組織が増えることによって指導者層の充実が期待される。次に会費制度である今までの会費納入方法では直接個人と本部との継りは薄れてしまっている。本部に会員カードを完備し、本部の財源が確保せられることにより、組織活動も集中的におこなわれることが期待される。更に、代議員制である。この制度を取り入れることにより、支部と本部との継り、会員の実数も明確にされ、支部の意見も大会を通してより強力に本会に反映され一層有機的な活動が期待される。

連帯意識確立図る

第一回　関東学生部研修会

去る十月一日、二日（土、日）関東学生部（委員長＝北原繁君）では鎌倉市光明寺で、第一回執行部研修会を開催した。

執行部が合宿で研修会を開くことはここ数年なかったが、執行部の連帯意識と友愛理論の確立に重点が置かれた。

内容としては、①都市の青少年活動について、○都市の青少年活動の現状と課題、○実践的学習論②友愛思想について、○友愛思想と友愛革命、○友愛社会とは、○友愛における人間関係、○友愛の説く平和、③現在の学生部について（パネル討議）、④フイルムフォーラム、⑤執行部の役職について（自由討議）、⑥民主々義と友愛運動、友愛運動と実践活動、⑦友愛の歴史とこれからの方向性の七項目に分れている。

①については国立社会教育研修所主幹、湯上二郎先生により実践的学習論を学生部に合うように講義がなされ、討議がなされた。

④については"誰かがやるだろう""男女交際について""グループとリーダー"の三本のフイルム上映後、内容について参加者の意見が交わされた。⑤については役職に対して、今まで認識が不充分であった所もあり、お互の執行部員が研究し、認識を深めた。⑦については本会相談役柳沢[illegible]先生を迎えてカレルギー伯と友愛の起こり等についての講議を受けた。なお他に講師として長田正太郎組織部長が派遣され指導に当った。

この研修会の特徴として、内容に非常に研究の後を伺うことができる。しかし、第一回目ということもあってか、あれもこれもと総花的な点があり、焦点を絞って今後の活動の発展に継るものとして企画道営されることが望まれる。

岡本省三事務局長談＝思うようにいった所もあるし、思うようにいかなかった所もある。しかしながら、執行部のほとんどが参加したということにより、共同学習という事に何らかの進歩があった事と思う。これからも講議形式の研修会でなくして皆が自由に発言できる雰囲気で研修がおこなわれるよう企画してゆきたい。

スカイメイト紹介

全日空で大阪に招待飛行

この度、全日空より申し出があって十二歳から二十一歳までの青少年には航空運賃を半額にする制度が紹介された。この制度が青少年の間にまだまだ充分に浸透していないので利用して戴きたいとの事であった。過日中青連加盟各団体の代表を大阪まで招待飛行をおこない、本会からも代表を送った。そこで全日空でおこなっているスカイメイト（空の仲間）の制度を紹介する。

◇スカイメイトにはルールがあります。

●仲間になれるのは十二歳から二十一歳まで、この年令の方なら誰でも会員になれます。

●仲間のシルシは会員証。全日空関東、関西、北海道地区の各営業所で発売。学生証、身分証明書、免許証、住民票など年令を証明するものを持参下さい。二百円の会費でスカイメイトの会員になれます。

●スカイメイトは前もって座席の予約はできませんが、東京―大阪、東京―札幌間は一二九人乗りのボーイングが飛んでいるのでほとんど乗れます。

●航空券は全日空営業所および航空代理店で発売、会員証を見せて下さい。

●区間は札幌―東京―大阪、運賃普通運賃の半額相当分で国鉄運賃並みです。

◇本会々員にお知らせ

全日空の協力により本会々員には特に〈会員証〉を郵送してくれます。様式（ハガキ大横書き）に必要事項を記入、署名のうえ、十五円切手十四枚と住民票など、年令を証明できるものを同封して申し込んで下さい。

申し込先、東京都中央区銀座八―五、新橋センター三号館、全日空東京営業所スカイメイト係

組織部長　近畿巡回

去る十月二十九日、三十日、三十一日と本部では長田正太郎組織部長を近畿地方に派遣した。

二十九日、関西学生部役員と懇談会をおこなった。組織の打合せ四年生卒業後の関西学生部の方向七月下旬おこなわれた全国学生会議、本部との連絡について等の懇談がおこなわれた。

三十日、和歌山市にて和田教円君と会い、夏以降の活動の報告を受けると共に、南部川村、南部高校、田辺等の支部結成についての打合せがおこなわれた。

三十日、大阪支部懇談会をおこない、今夏カンボジアから招いたヌート・バン氏の受け入れについて意見を交わした。また、大阪支部再興について、新しい人材を発掘することにつとめ、また本部からの指導も、第二の都市としてもっともっと力を入れてほしいとの要望もあった。

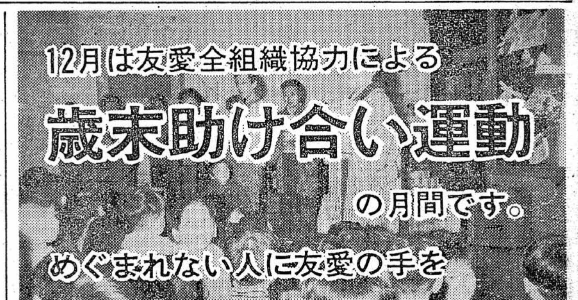
今回の巡回については急であったが、支部との懇談について内部における問題点の解決に力を入れなければ ならないと 感じられる。

投書欄　ロータリー

最近若者達の間でフォークソングが流行している。フォークソングは新聞、雑誌などで知られているようにギターを初め簡単な楽器で、誰にでもできる曲を皆なで歌って楽しむものである。このように誰にでも簡単に出来て、全員で楽しめるという点に今フォークソングが流行している原因があるのではないか。つまり現在の若者達の頭の中は自分一人で行動して楽しむよりも、大勢で行動して楽しむ方が多いに愉快であり、またその行動自体が何にか人にまねのできないでっかい事をしょうとする傾向が強い。よく先輩達がいわれる事に、「若者の時代が人生で最も自由な時である。この自由な素晴らしい時に自分で悔いのないよう自分の人生の思い出に残るようなでっかい事を、そして失敗を恐れずに行え、そしてでっかい事を成し遂げてこそ、はじめてその人間が大きく成長していくのだ。」とよくいわれる。自分もこの言葉には全く賛成である、といっても自分はまだでっかい事は一つも行ったためしはないのである。しかし自分が思うには、若者は常に前進せねばならず、決して後退してはならないと思う。その前進の過程には、大きな幾多の弊害が生じて来るであろうそして、その大きな弊害が常に前進せねばならない十字架を背負った若者に、大きくのしかかって来て、若者に人生の苦労を与えるのである。

ここでこの厚い壁を打ちくだいてまた前進し始めるが、ここで白旗を上げて前進を終えるかによって人生の勝敗が決まるのではないか。しかし現代の若者は、今まで自分が述べてきた事とは違って、その壁に尽き当る前に何か別のつまらない壁にぶつかって無駄な努力をしていてせっかく与えられる素晴らしい自由を間違った方向に使ってしまっている。後はただのんべんだらりと暮らしている傾向が強く、人が親切に注意をしてあげても一向に聞かず、我は我の道を行くなり等と言って、人の好意を無にする人が増えているようである。このような人は夢なども持っていないのではないか。人間は生まれた時から夢を持つ権利を与えられている、そしてこの大きな夢に向って一生懸命努力していくのが人間の仕事であり任務ではないだろうか、つまり夢を持たない人間は、はっきりいえば人生の敗北者であるのではないか。自分は特に人生の敗北者の人々に夢を持たせる意味でフォークソングというものを自分の前で示して、ぜひその人達に理解してもらい、実際にフォークソングを行ってもらいたい。そうすれば敗北者の人達にも夢が持てるようになるのではないかと思う。フォークソングはそれだけの力があると自分は思う、とにかく人生の敗北者の人々がすこしでも早く夢を持てるような人間になる事を願うしだいである。

【関東学生部・山田行春】



宿泊料金
（ユース・ホステルの規則に従っています）
１泊２食　会員 550円・一般 600円
冬期暖房料金　60円　シーツ　100円

福岡市郊外の、背振山の麓にあって静かなたたずまいのうちに四季それぞれの味いがある。九州旅行のつれづれに温泉と鳥料理の味も格別なおもむきをもっている。

福岡県福岡市外早良町椎原
背振友愛山荘
TEL早良内野28（呼）
ペアレント　真武信幸

友愛山荘

高松市内にあって風光明媚な瀬戸内海を中心に四国旅行の中継地でもある。市内の栗林公園と屋島・小豆島等の観光の拠点としても大変便利である。

香川県高松市錦町2の4の14
高松友愛山荘
TEL②9526
ペアレント　土井昭道

申込　各友愛山荘に往復ハガキで直接申込んで下さい。
問合　財団法人日本友愛青年協会
東京都文京区音羽町7の10
TEL（941）2801

会員投稿

組織の概念を考える 原則論による基礎を固めよ

はじめに

先きに本紙第一六一号に会員投稿に本会の活動への提言というのがあったが、不充分ながら日頃、組織について研究したものであるが、何かの参考になればと考え投稿するものである。

我々の生活は何らかの型で組織と関係がある。先ず、友愛の会員であり、職場に居る人は職場に、学校にあっては学校に、家に帰れば町会等で、また広くは日本国民として好むと好まざるとにかかわらず組織化されている。

そこで、我々はこの組織について友愛の活動をすすめるにあたって基礎的な知識を身につけ、実践活動がより効果があるよう考えてみたい。

この文章を手にして、ただ〃そんなもんかな〃と読み捨ててしまうのでなくして、例会、あるいは数人の座談会の中において、懇談学習、研究の教材、題材として利用して戴きたい。これは決して充分なものといえないので、皆で話し合うことによって、より新らしい認識が我々の頭の中に生れ、実際の活動に移るときに大いにそれが参考になると思う。

そして、実際の活動を通して、我々が共同で話し合った事が正しかったか、もっと深く、またもっと別の観点からの検討もしなくてはならないか等の評価も得られ、次の実践活動に大きな資料を残してくれる。この操り返しによって友愛思想及び実践活動も浅い知識からより深いものへと移ることができ、友愛の活動の基本的なものを理解し、身に着けてゆくことができる足掛けとなれば幸である。

この組織論は外面的組織に付いての把握が多く、諸兄姉の期待する所と離れているかも知れないが、実際の支部活動をすすめてゆく上に参考になればと考える。組織に付いての基本的な考え方が充分でない場合には原則論に立ち帰って考え直してみる、ということは重要である。そこで今回は組織の概念と組織の形をみてゆきたい。

一、組織の概念

組織というものについての考え方は実に多くある。日常用語にも使われ、自然科学の専門用語にも多く使われている。しかし、我々はその中で社会の現象として組織を把えてみよう。そして、それを明らかにすることによって日常、組織などと軽く口に出す組織についてはっきりとした認識をもとう。

1、状態としての組織

この考え方は相互になんらかの形と、ある程度で関連し合った人人の集りを想定し、一定の観点からその特徴の一つをとり出して組織であるとする考え方である。そして（a）集団としての側面、（b）人間活動としての側面、（c）機構ないし編成としての側面等の特徴から組織の概念が考察される。

A、集団としての組織

集団の構造化ということである集団の構造化とは未組織集団が組織集団になってゆくとき、その集団の構造がはっきりしてくる。即ち、集団の成員の間での相互作用あるいは社会関係における地位と役割の分化とその明確度である。

例えば、未組織集団の典型としての群集ではせいぜい指導者と一般群集との分化がみられるだけであり、しかもその地位と役割は著しく一時的であり流動的である。そして、それが組織集団としての体勢を整えてくると、まず、地位と役割が多様となり、指導者（リーダー）ー中間指導者（サブリーダー）ー一般成員という関係が分化してくる。それと同時にたての関係では同じ地位の間に、機能的分業がおこなわれる。これらの多様に分化した地位と役割の相互の承認が徹底し、安定するに応じてその集団の構造化は進みその集団は組織集団であるとみられる。

ビーアステッドは未組織集団から組織集団へ変化してゆく尺度として次の七つを挙げている。即ちその時の集団が、Ⅰ遂行するべき特定の機能ないし、達成すべき目的を明瞭にもっている程度Ⅱ集団の成員の行動を規制する規範の明瞭度ならびに安定度、Ⅲ集団内の諸地位、Ⅳ権威（根限）の分化と明瞭度、Ⅴ集団加入の資格の差異、Ⅵ集団の所有する財産（信用とか伝統のごとき社会的、精神的財産も含む）の有無及び所有の程度、Ⅶ集団の名称及び他の識別象徴類である。

B、人間活動の体系としての組織

集団として組織をみることを避けて、とくに人間活動の体系として組織の概念を構成する考え方がある。バーナードは〃組織とは二人以上の人々の良識的に統括された活動や諸力の体系である〃と定義している。これは組織の概念を構成している要素から物的環境、外部の社会的環境、構成員としての人間のもつ多様な側面を捨象して扱う変数を削減し、限定している。そして、組織を人間活動の体系と考えることにより、組織に対する個人の貢献意欲が、いいかえれば、共通の目標達成のため活動の動機と組織の側の誘因との動能的関係がはっきりする。

C、機構ないし編成としての組織

集団としての組織の中でみてきたように、集団として組織たらしめる諸特徴を抽出してこれを組織と考えるとそれを構成する人間から切り離れ、独立した機構ないし編成としての組織概念を得ることができる。

〃いくら組織ばかり作ってもうまくいかない〃〃たんなる組織いじりに過ぎない〃等という日常用語における否定的表現に登場する〃組織〃は何か現実性を欠く消極的なものを意味している。欠けているのは組織としての活動―参加と統率―がいっこうに成されていないという意味もあり、より前段階としては必要な人員の配置がなされておらず、たんに紙の上の組織図表が存在しているという意味もある。あるいはさらに物的手段の整備（施設や資金）すらも不充分であるという意味もある。

2、過程としての組織

組織とはたんに静態的状態ばかりでなく動態的過程という側面を持っている。そして、組織を過程としてとらえることを第一義に重視し、その点を強調するため組織概念を構成するものとして、管理行為の過程としての組織、政策決定行為あるいは意思決定行為の過程としての組織、調整過程としての組織、バランス過程としての組織等があげられる。

次に〃組織化〃の概念について考えよう。過程としての組織の特徴を表わすため〃組織化〃概念が用いられ、〃状態〃としての組織を〃組織体〃などと呼び、過程としての組織を特に〃組織化〃という場合がある。

（1）まず、〃社会の「未組織部分」に組織が浸透してゆく自己増殖の過程〃が考えられる。これを個人の側から表現すれば、より多くの個人が組織に加入（自発加入組織）あるいは編入（強制加入組織）されてゆく過程ということになる。

ところで、この〃未組織部分〃には次の三つの場合が考えられるⅠ（もっとも単純な意味では）いかなる組織にも加入していない孤立した個人の場合、Ⅱ（いかなる組織にもまして集団にも加入していない個人の存在はほとんど考えられないから）ある特定の組織からみてそれに加入していない部分が未組織部分であり、これらの部分が組織に加入あるいは編成されることが〃組織化〃であるということになる。Ⅲその際に既存の〃非〃組織集団が既存の組織の中に加入あるいは編成される〃組織化〃もありうる。

（2）次に、ある組織が他の組織ないし集団を上位組織、同位組織、下位組織とすることにより、諸組織および集団間に重層関係あるいは系列関係が成立してゆく過程をいう。

（3）更に、地域社会組織化ということが考えられる。これは元来地域社会における諸欲求と、地域社会の資源（利用し得る経済的社会的諸条件）との間のバランスを保ち、調整することを意味し、この場合の〃組織化〃とは要するに調整である。

二、組織の類型、局面、側面

1、組織の類型

A、目的あるいは機能による類型化

組織の特徴をまず目的あるいは果すべき機能の明確な設定に求めるならばごく常識的には経済組織（団体）、政治組織（団体）、文化組織（団体）などがあげられる。

B、構造化の程度と特徴による類型化

権限の分配の形式として、中央集権的組織と分権的組織、指揮命令系統の整備と職務の専門化など

C、組織規範による類型化

組織の類型としては右の三つが考えられる。

2、組織の局面

組織を動態であることを第一義的に考えると、組織の生成、展開、停滞、衰退、消滅などの諸局面の特徴が注目される。

組織は一定の目的達成のため結成され、あるいは当初は自然発生したものが次第に形態整備される過程を踏み、さらに目標達成によって変質、解体するか、目標達成を断念して挫折するかの途を辿る。また、中核となる組織自体は持続性をもっているが、他の組織との連携、重層化、系列化（組織化）がたえず試みられる。

まず〈発端期〉における集団行動の成立、指導者となるべき中核の発生と拡大が注目される。次に〈組織化〉の時期における社会運動の形態整備、中核グループの活動が注目され、次に〈制度化〉の局面などと呼ばれ、往々にして目標の部分的達成によって、組織の拡大、目標の追及よりも組織の現状の維持に問題と指導者層の関心が注がれ、一般成員の参加動機も多様となる段階である。もちろんこの外に目標達成に伴う〈解消〉、挫折による〈消滅〉があり、さらに状況の変化、リーダーシップの改善によって、制度化の局面における組織の停滞が打破され〈再組織化〉の局面が出現する場合もあり得る。

3、組織の側面

局面論が組織の動態を時間的に幅広くとらえようとするのに対して、組織の側面論は組織の多側面多特徴を重視して複合的に幅広くとらえようとするところに成立する。

組織の多側面、多特徴は二つの意味で重視される。

第一の意味は現実の多様性を重視する考え方から得られる。組織現象の場合、たとえば経営組織を扱う際にそれは企業体であり、そしてそれは価値の流れ、仕事の組織、人間の組織という三つの側面をもっているといえる。

第二の意味は多目標、多機能集団における多特徴、多側面の強調から生ずる。たとえば、わが国における農業協同組合組織の場合それが経済事業団体であると同時に一方では農林行政の末端組織でもあり、他方では農民の生活の向上を目標とする農民の組織でもある

活動 豆知識

今度新しい試みとして活動豆知識なる欄を設けることになった。この欄では青少年運動をすすめてゆく上に必要な諸知識を簡単に説明、解説してゆこうとするものである。大いに活動の参考として戴きたい。また、活動をすすめるに当って解らない事なども本部に質問を出せばこの欄で取り扱ってゆく。

新時代の呼び掛け

世連日青協 副委員長 戸島力

漢江（東京では隅田川）を渡るまで続いたコスモスの花と稔った稲穂だけを見れば何んの変哲もない日本の風景である。

一時間四十二分の空路は雲一つない秋空であり、空港の面倒な手続きさえなければ全く快適な旅である。噂さ通り韓国の空は高く碧い、日韓条約の締結は、まさに雪融けにふさわしく空の通路を開き往き交う人で連日満席に近いという。近くて遠い国といわれた言葉はもう過去のものになった。

金浦空港は韓国国際親善会の歓迎の華（チヨゴリ姿の出迎え）で飾られ、配られた日程表は十五日間すっかりうまっている。

丁一権国務総理、李東元外務部長官、国会議長、ソォウル市長と礼訪を重ねるうち中央政庁の垂れ幕に気がついた。〃混食をもてって農民の労苦に応えよう〃密輸、汚職は国民の敵であることは言をまたないが、そのスローガンはホテルから一般家庭にまで浸透している、人口と農業生産のバランスや作柄等もあろうが、反共、増産、輸出、建設を国是としてみれば心構えの問題ともうけとれる。労働力は豊富であり資材に乏しい。が国土開発に着手してその実を上げつつあることも新しい韓国として見逃しには出来ない。

北漢山の険わしい山脈に対比して、ソォウルに南山があり、舗装された格好のドライブ・ウェーを終え五分ぐらいの散歩路で頂上である。在韓中いろいろ世話になった女子大生の李成男さんと父親は「ソォウルの夜景を是非見て帰りなさい。」と強引に誘ってくれた。寒い夜だったし、多少疲れていたが、その好意に甘えて同行した。

見事な夜景である。蛇行する漢江は黒くその長躯を横たえ、明洞（東京では銀座）あたりの賑ぎわいが山の裾野を通り中腹までおよんでいることが浮きぼりされて、手にとるようにわかった。

十数年前の動乱は首都を破戒した。しかし四度の戦火をこえて復興し、人口三七〇万の街に変貌した。

この悲劇と誇りは三十八度線とともに韓国の人との心に深く刻まれている。板門店は首都から車で二時間、臨津江にかかる一度の橋と北側にある〃再び帰えうざる橋〃との間にあり、韓国の全ての悩みがここにあるといえよう。

ポプラ並木と平行していた鉄道もいつか土盛りの跡と季節の草花だけとなって途切れている。カマボコ兵舎、レーダ基地、非武装二〃地点まで続く地雷地帯の通過には背筋に冷汗を感ずる思いであったが国連側事務所に日本の少女の平和への祈りが千羽の鶴を折って両陣営に通ずる二本の電話の上に揺れているのを見て私は一つの救いにたものを感じた。

第一回日韓青年学生会議は半島ホテルで開かれ、閔富貴教授の特別講演に引き続き、国家間の接近方法と国際社会における意義、第二回本会議はアジア地域の近代化とその問題点並に世界史的意義におけるアジアの位置と言うテーマであった。

討論は活発になされ、共同コミニュケの作成を急いだ、相互理解を推し進めるため、国連の意義を基調として青年学生の交換と留学生問題、文化、技術の交流をはかることを柱として発表された。

日本向け放送はこれらを〃友情のかけ橋〃として二十分番組をくんだ。

植木光教会長は新しい時代の呼びかけに、両国の若人が心を出発点に不幸な歴史を払拭し、失われた時代をこの手でとり戻そうではないかと訴えた。

帰えり途の空港は〃別れの歌〃の大合唱でこだまし、打ち振る手はいつまでも続いていた。

韓国代表団は十一月十五日、日本に到着して二回の本会議と各地の親善を行う。受け入れの諸準備は全て出来上った。

李さんの便りでは日語学校へ行き来年は是非日本に行きたいと述べている。一衣帯水、言葉通り相方の呼びかけで長くとざされていた小さな種が、ようやく花を咲かせようとしている時代なのだろう

中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三階建の快適な宿泊施設をほこり，太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内

尾道友愛山荘 TEL 尾道 5554

ペアレント 高橋最宜

（ユース・ホステルの規則に従っています）

宿泊料金 1泊2食 会員 550円・一般 600円

友愛山荘

軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは，若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久郡軽井沢町1608

軽井沢友愛山荘 TEL 軽井沢 2477

ペアレント 早川忠光

朝日磐梯国立公園の恵まれた景観の中に建って，東洋一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

福島県耶麻郡猪苗代町字葉山

磐梯友愛山荘 TEL 猪苗代 424

ペアレント 吾妻充

問合せ 財団法人 日本友愛青年協会

東京都文京区音羽町7の10 TEL (941) 2801

地方だより

田辺に支部結成
和歌山県下に拠点できる

【田辺発】和歌山県下田辺市では去る十一月四日付で田辺支部の発足を申請してきた。同日おこなわれた部代表者会で承認された。

和歌山県下には今夏七月中旬以降移動展開班で長田正大郎組織部長と、山本雅春関東学生部事務局次長が巡回した折に地元の代表と支部結成について懇談をおこなってきたものである。

和歌山県では以前から堅田哲生君という古い会員が中心となって地区組織はあったが支部にまでは至っていなかったものである。

第十三回全国大会には今度支部長になった東（ひがし）君が映画会の開催を約して帰ったものである。映画班では田辺市の近くにいる田中教内君と会い、和歌山県下での友愛活動及び、友愛思想についての意見を交わした。今回の支部結成についても重要な役割を果し、和田君自身も地元の南部川村で、南部高校にそれぞれ二十名以上の会員を集め支部結成も間近になっている。

田辺市では堅田さんを初め全国大会に出席した東君、それに県連を作るとき担当する鎌崎君、南部の和田君を交えて必ず県下第一番目の支部として結成するまでに至ったものである。

結成するかぎり、細くとも長続きするものとして根強く活動する事に重点が置かれている。田辺を拠点として、前に出た南部、やがては北紀、南紀と組織が伸びてゆくであろう。

新役員
支部長　東　稔雄
事務局長　早舩田元司
会計　田中　博子
委員　村上　猛
同　山本　享一
同　裕子
同　中田　隆之
※新事務所＝和歌山県田辺市新屋敷町五十、早舩田元司方

晴の優勝杯赤組に
第一回都連運動会開催

東京都支部連合会（会長＝滑水幸重君）では去る十月十六日（日）午前九時半より、三時まで文京区立竜岩館にて第一回都連運動会を開催した。

開催早くから準備委員により飾付け等がおこなわれ、勇壮なマーチが流れ運動会の気分を盛り上げていた。尾形智幹事長、都連副会長飯塚太郎君の挨拶が終った後、競技に入った。

準備委員会の企画に基づく競技はなかなかアイデアに富み室内ではあっても室内ゲームとはまた違った活気が感じられ、参加者一同興に乗っていたようである。昼食時には都連精鋭の集う所お茶の心尽しの席も開かれた。昼休みには「フォークダンス」をおこなうと共に、坂本九売出しの「ジェンカ」を皆で踊り汗を流した。

午後に入り競技に熱が入り赤白追いつ追われつの接戦を続けたうち、赤一四〇点白九八〇点の僅差をもって第一回の栄ある優勝カップは赤組のものとなった。

田中祥子副会長談「今回は会長さんが仕事の都合で参加できないという事で、私が実行委員長を引き受けてしまったのですが、準備委員の方々良くやってくれるので助りました。何事も第一回目は大変ですが、これからはこういった催しをもっと広く青少年の中に入り込んで参加したいと思っています。」

白鳳公園を清掃する
ゴミ箱二つを設置する

【上野発】三重県連下上野支部（支部長＝町野春一君）では十月九日（日）午前と午後の二回に分けて白鳳公園の清掃活動をおこなった。

連休の第一日目で同内園は行楽客で大賑いでゴミも散らかっており、せっかく訪れた人達に不愉快な思いをさせないようにと町支部の会員数十名が参加し、俳聖殿や芭蕉翁記念館前広場を美しくそうじした。この清掃は毎年芭蕉祭前日におこなっているものである。

また、ゴミ箱が少ないのもゴミを散らかす原因であるということで、市内の材木店の協力により廃材をもらい会員の手で作製したものである。高さ、幅、奥ゆきとも約一・五尺の大きなゴミ箱を作り「公園をきれいにしましょう」と書き込んで俳聖殿前と芭蕉翁記念館前の二ヵ所に備えた。

なお、今後毎年数個ずつ設置していく計画を持っている。

新宿西口
小田急
10時～6時・木曜定休

宮古島に救援続く
香川、福島で広く応援

【香川発】香川県連（会長＝土井昭遺君）では台風二九号で被害を受けた宮古島および山梨県方面に救援物資を送付した。

県連本部に送ってもらうと同時に印刷物を配って一般の人にも協力して頂いたものである。学生服、運動靴、下着等衣類二九八点十包をそれぞれ九月二十日および十月十三日に分けて香川県共同募金会を通して発送した。

【福島発】福島支部（支部長＝佐藤忠夫君）では去る九月の例会で会員に呼びかけ宮古島救援のための活動をおこなった。

約一週間で衣類（セーター、レインコート、背広、スカート、下着等）と二千三百円の義援金が集り、物資は郵便局を通じて（発送無料）また義援金は日赤福島支社を通して、それぞれ災害地の宮古島へ届けられた。

岐阜県連で反省会
ヌート・バン氏歓迎で

【岐阜発】岐阜県連（会長＝大洞竜明君）では去る九月三十日先きに来日した元カンボジア代表ヌートバン氏歓迎についての反省会をおこなった。その報告が届いたのでここに掲載する。

ヌート・バン氏来岐についての反省会報告。

一、予備期間が短かすぎ、充分なもてなしができなかった。（県連としては短期間の割に皆の協力による大成功を収めた）

●来日早々の経歴を辞して事前連絡がほしい

一、レセプションの出席者が二千名たったせめて五〇名位で歓迎したかった。

一、県連における予算がなかったのでこういう行事に備える予算を常備したい。

一、会員との懇談時間が短かったが、外人招待に関する選出を特に注意してほしい。

A、今回はカンボジアがフランス領であったため選択態度に難があった。

B、日本語を理解でき、充分な通訳の可能な人。

C、通訳が通訳としての義務を怠っていた。（通訳の自己満足に終り、ヌード・バン氏に説明不充分）

●事前の連絡をもう少し早くはしい。

●海外交流の場合来日の目的を明確に事前連絡がほしい。（スケジュールの立案の関係上）

岐阜支部 臨時総会開催
長尾君を支部長に選出

【岐阜発】岐阜支部（支部長＝杉山秀雄君）では去る九月四日（日）午後一時より五時まで、市内しめ屋ビル中日茶華道教室にて臨時総会を開催した。

議題は役員改選についてであり支部長辞任に伴う全役員の改選をおこない左記の通り決定した。また、九月九日（金）新役員の会合をおこない、今後の方針として会員相互の和を主張すると、毎月第二木曜を例会とすることが確認された。

新役員
支部長　長屋　隆文
副支部長　丸茂　修
同　鈴木　昌和
幹事長　森　勝彦
副幹事長　永田　貴稔
財務局長　松井　志郎
事務局長　横山　圀子
※事務局＝岐阜市神田町二丁目十番地三号、永田貴稔方

【なごやかなうちにも真剣な競技風景】

組織訪問 ⑪
岐阜県・岐阜支部

その昔、織田信長が天下統一の足場とした岐阜城は今、世界に鵜飼で名高い長良川の清流を眼下に眺め、緑濃い金華山の頂上にその威容を示し、近代都市として発展する岐阜市を見守っている。この岐阜市の一角に産声を上げて3年9ヵ月、岐阜支部は地味ではあるが、一歩一歩着実に成長してきた。年1回の研修会を初め月2回の例会、毎月おこなう誕生会等では会員相互の親睦はもとより発言力や協調精神、人間性の向上を図っている。また、教育委員会や新聞社、レコード店の後援を得て隔月におこなっているレコードコンサートはすでに20回の多きを数え毎回 200名余の市民を集め独特の企画で好評を博している。その他、ピクニック、キャンプ、チャリティーパーティー、及び昨年の第20回岐阜国体キャラバン隊等、広く一般青少年に参加を呼びかけ社会福祉にも力を入れている。なお、こうした行事の後には必ず反省会を設けて次の活動に反映させている。ところで一つ変ったものを紹介しよう。「ポンソワール」と名付けられたノートだが、市内の一喫茶店主の協力で常時そこに預けてあり、会員なら何時でも誰でも読み書きできる。いわば雑記帳である。言動では表現されない文学的、精神的な情操の向上と会員相互の心の動きを知る事によってお互に一層理解し親睦を深めるのに一役買っている。このポンソワールは小冊子として発行するため現在編集中である。九月に開かれた臨時総会で長屋隆文君が再度支部長に就任、これと時を同じくして県が学校教育と青少年の健全育成に最重点をおいた施政方針を打出した。発足以来連続3回優秀支部として表彰された本支部は豊かな経験と若さに溢れる実行力を持って、総勢100名 の会員が たえず躍動しなお一層大きく飛躍しようとしている。

なお一層大きな飛躍を
豊かな経験と若さに溢れる実践

【写真はこの春おこなったピクニックの記念写真である】

国民会議
青年国土開発

10/1 第一回関東学生部長部研修会（於鎌倉市光明寺）
2日まで）
4 第六回常任幹事会（後六時半・於本部事務所
5 アジア財団パワクス氏歓迎会（後六時・於国立教育会館）
青年の船懇談会（後二時・於永田荘）
友の会和裁の集い（前十時半・於はなれ）
7 早朝慕参会（前六時半・於谷中）
鳩山先生夫妻銅像建立一周年記念（前八時半・於護国寺御廟前）
婦人会役員会（後二時・於はなれ）
第二回中青連委員会（後一時・於日本青年館）
世界青年会議第十二回実行委員会（後三時・於日青館）
第十回都連幹事会（後六時半・於本部事務所）
8 選挙法改正運動協議会（前十時半・於日青館）
9 第六回組織指導者講習会（於はなれ10日まで）
11 事務局会議（前九時半・於事務所）
パール博士を囲む会（後五時半・於椿山荘）
14 体力つくり国民会議第三回総会（後二時・於共立ビル）
総選挙応援東南アジア代表受入れレセプション（後六時・於第一ホテル）
16 国立青年の家開所式（前十時半・於北海道狭町）
都連交歓運動会（前九時半・於文京青年館）
17 青年の船懇談会（後二時・於永田荘）
友の会和裁の集い（前十時半・於はなれ）
19 友の会和裁の集い（前十時半・於はなれ）
22 オリンピック世界青少年キャンプ委員会第三回理事会（後二時・東京YMCA中二階）
23 鳥井敏光君結婚式
24 全日空スカイメイト協力打合せ（後一時半・於全日空）
28 中国反共救国団代表との懇談会（前十一時・於本部事務所）
29 鶴巻常幹帰国（後八時半・於羽田）

鳥井敏光君結婚

去る十月二十三日（日）大阪の鳥井敏光君（組織委員）はかねての婚約者と結婚、新生活にスタートした。

新婚旅行先の石川県輪島市より便りが届き、これから演奏旅行をするとのことであった。

卯月研造君結婚

財団職員の卯月研造君（この夏尾道交歓山荘でペアレントを務める）は去る十月一日（土）広島県呉市の亀山神社で結婚式を挙げた新婦雫子さんは昨年卯月君が尾道交歓山荘に働いていた折に知り合ったものである。今後は卯月君が幹事友愛山荘のペアレントとして働くことになっているので福島の方に新居を変える。

美しいお肌の誕生!!
—美を科学してみました—
全身美容
高級浴用化粧品
ミルバー
（牛乳風呂の素）
御一報次第サンプルをお送りいたします。
発売元　日盛商事株式会社
東京都千代田区外神田4丁目5番4号　亀松ビル
TEL 253－7581～7585

MORIYAMA ☆☆☆
切削工具・特殊物製作
各種リーマー・カッター…
森山精密工具株式会社
取締役社長　五十嵐省吾
本社・工場　東京都品川区豊町3－8－7
電話 東京（783）6405（代表）